

自己の成長を感じながら、自己実現を図ろうとする児童の育成

－「キラリシート」と「キャリア・パスポート」をつなぐ学級活動（3）の授業づくりを通して－

前橋市立荒牧小学校 神澤 優希

I 研究の背景

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）第一章総則では、「特別活動を要しつつ各教科等の特性に応じて、キャリア教育の充実を図ること」と示され、予測困難な時代の中で、キャリア教育の効果的な実践が求められている。しかし、キャリア教育に関するこれまでの自身の実践を振り返ると、職業調べや職業体験などの総合的な学習の時間に偏りがちであった。また、学習や生活、学校行事等とキャリア教育の関連が十分に図れていないこと、行事等や「キャリア・パスポート」が単発的な振り返り活動になり、児童が自己の成長を十分に実感できる活動にまで至っていなかったことも課題として挙げられる。

本校は、学習や様々な活動に対して一生懸命に取り組むことができる児童が多い。一方で、自分のよさや課題を見付け、自己の成長につなげていこうと行動できる児童は多くない。それは、「なりたい自分の姿」が不明確で、その姿に近付くための具体的な目標や課題の解決方法が曖昧であるためではないかと考えられる。

これらの課題を踏まえ、本研究では、目標となる「なりたい自分の姿」を決め、学習や生活の中で自己の成長を感じながら、目標とする姿に近付こうとする児童の育成を目指す。前橋市では、キャリア教育を通して育む基礎的・汎用的能力を、「つながる」「みつめる」「やりぬく」「きめる」「えがく」の5つのキーワードに整理し（資料1）、「キャリア・パスポート」に明記している（資料2①）。キャリア教育を推進するためには、教師がキャリア教育で目指す能力（以下、5つのキーワード）を基に児童に身に付けさせたい力を明確にすることが必要である。また、児童が5つのキーワードを基に「なりたい自分の姿」を思い描き、自分の取組を振り返りながら、次の目標に向かって努力しようと意欲を高めることが重要であると考えられる。

以上のことから、本研究では、5つのキーワードと「キャリア・パスポート」の活用に重点を置いた手立てを講じ、「自己の成長を感じながら、自己実現を図ろうとする児童の育成」を目指すこととした。

II 研究の目的と方法

1 目的

「キラリシート」と「キャリア・パスポート」をつなぐ学級活動（3）の授業づくりを通して、自己の成長を感じながら、自己実現を図ろうとする児童の育成を目指す。

2 方法

【手立て1】5つのキーワードの意識付けと「なりたい自分の姿」を決める活動の設定

5つのキーワードのそれぞれの意味に沿った図（図1）を作成して教室に掲示し、各教科や道徳、特別活動や日常生活等の様々な場面において、教師が意図的に取り上げ、意識付けを図る。

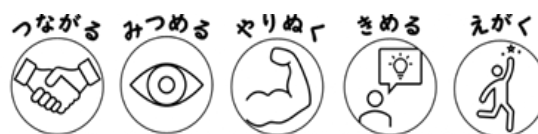


図1 5つのキーワードの意味に沿った図

年度初めに行う学級活動（3）では、「キャリア・パスポート」に記載の5つのキーワードと学年の目標を確認し、当該学年で目指す児童の具体的な姿を明確にする。それを基にペアでの交流活動（以下、ペアタイム）を取り入れ、「なりたい自分の姿」を決める活動を設定する（資料2②）。

【手立て2】「キラリシート」を用いて自己の成長を記録・蓄積する活動の設定

5つのキーワードを基に学習や生活場面における自分の取組を振り返る時間を「キラリタイム」と称して設定する。キラリタイムでは、児童が5つのキーワードから身に付いた力を選択し、自分の取組について自己評価できるように、振り返りシート（「キラリシート」）を用いる。また、「キラリシート」内には友達や家族などから評価を得ることができるメッセージ欄を設ける。「キラリシート」は、協働学習アプリケーション（以下、「オクリンクプラス」）内に保存しておき、児童が随時、記録・蓄積できるようにする（資料2③）。

【手立て3】「キラリシート」を基に「新なりたい自分の姿」を決める活動の設定

学期末に行う学級活動（3）では、これまでに記録・蓄積した「キラリシート」を見返し、「なりたい自分の姿」と自己の成長を振り返る活動を設定する。「キャリア・パスポート」には、「新なりたい自分の姿」を記入する欄を作成しておく（資料2④）。「なりたい自分の姿」を見つめ直す場面では、児童の「もっとできるようになりたい」という思いを基に具体的な解決方法について考えることができるよう、ペアタイムを取り入れる。友達からの励ましや賞賛、助言を基に新たな目標「新なりたい自分の姿」を決め、それに近付こうとする意欲を高めることができるようにする。

III 実践

本研究では、第2学年を対象に特別活動（学級活動）を中心に授業実践を行った。

実践	実践時期	題材名	題材の概要
授業実践Ⅰ	6月	キラリをあつめて ぐんとアップ大きくせん ～なりたいじぶんのすがたを考えよう～	「キャリア・パスポート」に記載の5つのキーワードを基に、「なりたい自分の姿」を決める活動
日常	「キラリシート」の蓄積		
実践	実践時期	題材名	題材の概要
授業実践Ⅱ	9月末	キラリをあつめて ぐんとアップ大きくせん ～今のじぶんをふりかえり つぎがんばることを考えよう～	記録・蓄積した「キラリシート」を基に自分の取組を振り返り、新たな目標「新なりたい自分の姿」を決める活動

1 5つのキーワードの意識付けと「なりたい自分の姿」を決める活動の設定

5つのキーワードに照らして見付けたよさを「キラリ」と総称し、「キラリ」を集めて成長していこうという思いが膨らむように学級活動（3）の題材名を「キラリをあつめてぐんとアップ大きくせん」とした。昨年度の2年生（現3年生）の「キャリア・パスポート」の記載を例に挙げながら、5つのキーワードの具体的な姿について学級全体で考える活動を行った。次に、5つのキーワードの具体的な姿と今の自分の姿を関連付けながら、「なりたい自分の姿」を決める活動を行った（図2）。その際、ペアタイムを設け、「なりたい自分の姿」に近付くために伸ばしたいキーワードについて友

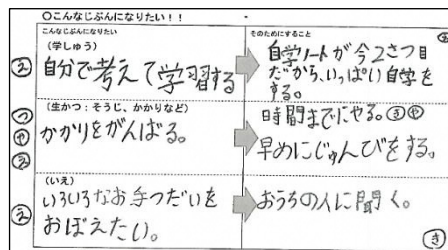


図2 5つのキーワードと関連付けた「なりたい自分の姿」

◎：つながる ②：みつめる
⊙：やりぬく ⊕：きめる ⊖：えがく

達と交流し、自己実現に向けて実践意欲を高めることができるようにした。また、授業実践Ⅰの後も、各教科や道徳、特別活動や日常生活等の様々な場面において5つのキーワードを基に児童の取組を認めていった。

2 「キラリシート」を用いた自己の成長を記録・蓄積する活動の設定

5つのキーワードの具体的な姿が発揮された学習や生活の場面においてキラリタイムを設定した。その際、教師は5つのキーワードのどの力が身に付いたのかを問いかけたり、隣の席の児童からキラリメッセージを記入してもらいように促したりして、児童が自己の成長を実感できるようにした(図3)。キラリタイムは学校で一斉に実施するだけでなく、児童が自分の頑張りを感じた時に自ら記録・蓄積できるようにし、家で記録・蓄積する際には、メッセージ欄の記入について家の人の協力を得た。また、学級全体の学級活動に対する意欲を高めるために、児童が作成した「キラリシート」や5つのキーワードの蓄積数を学級全体で集計したグラフを掲示板に掲示した(資料3)。

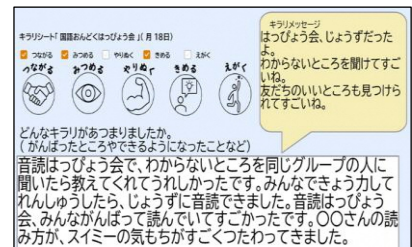


図3 児童の「キラリシート」例

3 「キラリシート」を基に「新なりたい自分の姿」を決める活動の設定

授業実践Ⅱでは、まず、児童に今まで記録・蓄積した「キラリシート」を見返すように促した(図4)。次に、「キャリア・パスポート」を用いた振り返り活動を行った。その際、児童がこれまでの頑張りや自己の成長を実感できるよう、「キラリシート」内に記載の5つのキーワードの蓄積数や記述内容、友達や家族からのメッセージを参照するよう助言した(資料4)。「なりたい自分の姿」を見つめ直す場面では、その姿にどのくらい近付くことができたかを問いかけ、「もっと成長したい、できるようになりたい」という思いを引き出した。さらに、友達からの励ましや賞賛により自己の成長を実感したり、解決方法についての助言により具体的な目標を決めたりできるようペアで交流を行った(図5)。教師は、5つのキーワードを意識した交流を行っているペアを意図的に紹介し、学級全体の交流の質の向上を図った。その後、学習・生活・家の場面の中から特に頑張りたい場面を選択し、「新なりたい自分の姿」を決める活動へとつなげた(図6)。



図4 「キラリシート」を見返す児童の様子



図5 ペアタイムの様子

最後に、「なりたい自分の姿」と「新なりたい自分の姿」を見比べることで、自己の成長や目標の高まりを感じることができるようにした。

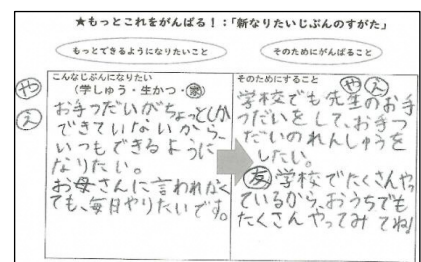


図6 5つのキーワードと関連付けた「新なりたい自分の姿」

◎：つながる ⊕：みつめる
⊙：やりぬく ⊕：きめる ⊕：えがく

IV 結果と考察

表1(次頁)は、授業実践Ⅰの前(6月)と授業実践Ⅱの後(10月)に行った児童アンケートの結果である。

表1 キャリア教育で目指す能力「5つのキーワード」に関する児童アンケートの結果

4：いつもしている 3：ときどきしている 2：あまりしていない 1：ほとんどしていない（※数値の単位はパーセント）

キーワード	質問	6月				10月			
		4	3	2	1	4	3	2	1
つながる	友達と仲良くし、助け合っている。	60	29	7	4	75	25	0	0
みつめる	自分のよいところを見つけることができる。	53	29	14	4	68	21	11	0
	友達のよいところを見つけることができる。	64	25	11	0	68	21	11	0
やりぬく	初めてのことにチャレンジしている。	71	11	14	4	75	21	4	0
きめる	分からないことは質問している。	61	21	18	0	68	21	11	0
えがく	進んで勉強している。	68	21	4	7	93	7	0	0
	進んでお手伝いをしている。	64	29	7	0	79	14	7	0

5つのキーワードに関する全ての項目において「いつもしている」と答えた児童が増加した。特に、「えがく：進んで勉強している」の項目において、「いつもしている」と答えた児童が、68%から93%と、大幅に増加した。また、全ての項目で「ほとんどしていない」と答えた児童が0%となった。このことから、児童は他の教科や日常生活、行事などを通して、5つのキーワードの力を伸ばしながら、自己の成長を実感することができたと考える。

「キラリシート」を使った感想からは、「めあてが達成できたり、成長がわかったりして、がんばってよかったなと思った」「友達や自分のよいところをたくさん見つけられてうれしかった」と、自分の頑張りや成長を実感したり、友達のよさを知る喜びを感じたりする様子が見えられた。

表2は授業実践Ⅰ・Ⅱを通した学級活動（3）に関する児童のアンケート記述である。

表2 授業実践Ⅰ・Ⅱを通した学級活動（3）に関する児童アンケートの記述

質問「キラリをあつめて ぐんとアップ大きくせん」の授業はどうでしたか。
・「新なりたい自分」になるために友達と頑張りたいことを言い合ったりして、「これから自分も友達も成長していけるな」と思い、うれしかった。
・今「なりたい自分」に近付けているなどと思った。次は「新なりたい自分」になれるようにがんばりたい。

学級活動（3）において、「キラリシート」を基にこれまでの取組を振り返り、自己の成長だけでなく変容を感じることができた児童もいた。児童は新たな目標「新なりたい自分の姿」を決め、自己実現に向けて意欲を高めることができたと考えられる。

資料5は、児童Aの一連の活動における変容の様子である。「なりたい自分の姿」を設定した「キャリア・パスポート」を、その実現に向けた自分の取組を記録した「キラリシート」へつなぎ、さらに「新なりたい自分の姿」を設定する「キャリア・パスポート」へとつなぐ学級活動（3）の授業の成果の一例として示している。

V 研究のまとめ

1 成果

5つのキーワードを基に自己の成長を記録・蓄積する「キラリシート」と「キャリア・パスポート」をつなぐ学級活動（3）の授業づくりを工夫したことにより、児童は、学習や生活の中で自己の成長を実感できたり、「なりたい自分の姿」を具体的に決めて、それに近付こうとする意欲をもったりすることができた。

2 課題

児童が将来の自己実現につながる力を確実に身に付けるためには、児童の「もっと成長したい」という思いをより引き出すことができる教師の働きかけが必要である。また、次の学年への引き継ぎや学年・学校全体の取組にしていくための工夫、さらに、年間指導計画を見直し、その活用方法についても考えていきたい。

【資料1】前橋市のキャリア教育（※）と5つのキーワード（筆者作成）

前橋市のキャリア教育	
キャリア教育を通して子どもたちに育みたい力	
基礎的・汎用的能力	5つのキーワード
人間関係形成・社会形成能力	つながる 他者の個性を理解する力、コミュニケーション力、協力、協働、自己肯定感
自己理解・自己管理能力	みつめる 自己の役割の理解、自己の動機付け、自己管理能力、ストレスマネジメント
課題対応能力	やりぬく 実行力、困難なことに挑み達成感を得る、チャレンジ、忍耐力、責任感
キャリアプランニング能力	きめる 情報の理解・選択・処理、意思決定、課題発見、計画立案、評価・改善
	えがく 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、職業理解、多様性の理解、将来設計

※前橋市キャリア教育推進協議会資料（2019）より一部抜粋

授業実践Ⅰでは、「キャリア・パスポート」に記載の5つのキーワードそれぞれの意味に沿ってデザインした図を作成し、それらがキラリと光るイメージで星形にデザインした図にして活用した。



【資料2】「キラリシート」と「キャリア・パスポート」

①「キャリア・パスポート」表紙裏面

2年生のみなさんへ

いよいよ2年生のせいじつがはじまりました。あたらしいともだちとなかよく、べんきょうやうんどうをがんばっていることとおもいます。2年生でも、だれとでもなかよく、力をあわせてがんばることができるように、先生たちも、おうえんしていきます。

このパスポートは、みなさんのせいじょうをきらくするためのものです。先生たちも、このパスポートを見ながら、みなさんのせいじょうを、見まもって、いきます。

キャリア・パスポートに、みなさんのせいじょうを、まかくして、いきます！

小学校せいじつががんばってほしいこと

- ともだちとなかよくしましょう。【**つながる**】
- べんきょうやうんどう、なんでもなかよくがんばろう
- よいところをみつけましょう。【**みつめる**】
- じぶんやともだちのよいところをたくさんみつけよう
- はじめてのことにチャレンジしましょう。【**やりぬく**】
- さいしよはほいだけだ、ゆう気をもってしようせんしよう
- わからないことはしつもんしましょう。【**きめる**】
- みんながたすけてくれます。どんどんしつもんしよう
- すすんでべんきょうやおてつだいをしましょう。【**えがく**】
- 学校はもちろん、いえでもべんきょうしよう

○小学校の2年生のみなさんへ
いよいよ2年生のせいじょうがはじまりました。あたらしいともだちとなかよく、べんきょうやうんどうをがんばっていることとおもいます。2年生でも、だれとでもなかよく、力をあわせてがんばることができるように、先生たちも、おうえんしていきます。

③「キラリシート」(キラリタイムで使用)

キラリシート「」(月日)

キラリメッセージ

他者評価

どんなキラリがあつまりましたか。(がんばったところやできるようになったことなど)

頑張ったところやできるようになったことを記述

自己評価

作成した「キラリシート」はオクリンプラス内に蓄積する。

友達や家族からキラリメッセージをもらう

②「なりたい自分の姿」を記入する「キャリア・パスポート」2学年用(年度初めに使用)

2年生 名まえ

じぶんのよいところ

○こんなじぶんになりたい！
そのためにすること

（学しゅう）

（生かつ：そうじ、あかりなど）

（いえ）

みんなのためにがんばりたいこと

④「新なりたい自分の姿」を記入する「キャリア・パスポート」2学年用(各学期末に使用)

2年生 2学期をふりかえりましょう

1 2学期のことを思い出して書きましょう。

学校でがんばったこと(学しゅう)

(生かつ)

おうちでがんばったこと(お手つだい、ないごと)

このがっで、どのくらいできたか、○をつけましょう。よくできた できた もう少し

① 友だちとなかよくできましたか。【**つながる**】

② 自分のよいところを見つめましたか。【**みつめる**】

③ はじめてのことにチャレンジしましたか。【**やりぬく**】

④ わからないことは、しつもんできましたか。【**きめる**】

⑤ すずんでべんきょうやおてつだいをしましたか。【**えがく**】

先生から おうちのひとから

ぐんとアップ 大きくせん
～今のじぶんをふりかえり つぎがんばることを考えよう～

★もっとこれをがんばる！「新なりたいじぶんのすがた」

もっとできるようにしたいこと

そのためにがんばること

こんなじぶんになりたい(学しゅう・生かつ・家)

そのためにすること

【資料3】学級掲示

～キラリをあつめてぐんとアップ大きくせん～

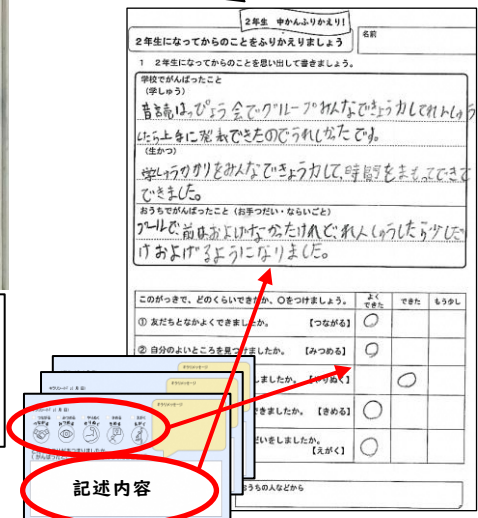


個々の「キラリシート」や5つのキーワードの蓄積数を学級全体で集計したグラフを掲示することで、5つのキーワードの意識付けや、～キラリをあつめてぐんとアップ大きくせん～の取組に向けた動機付けを図った。

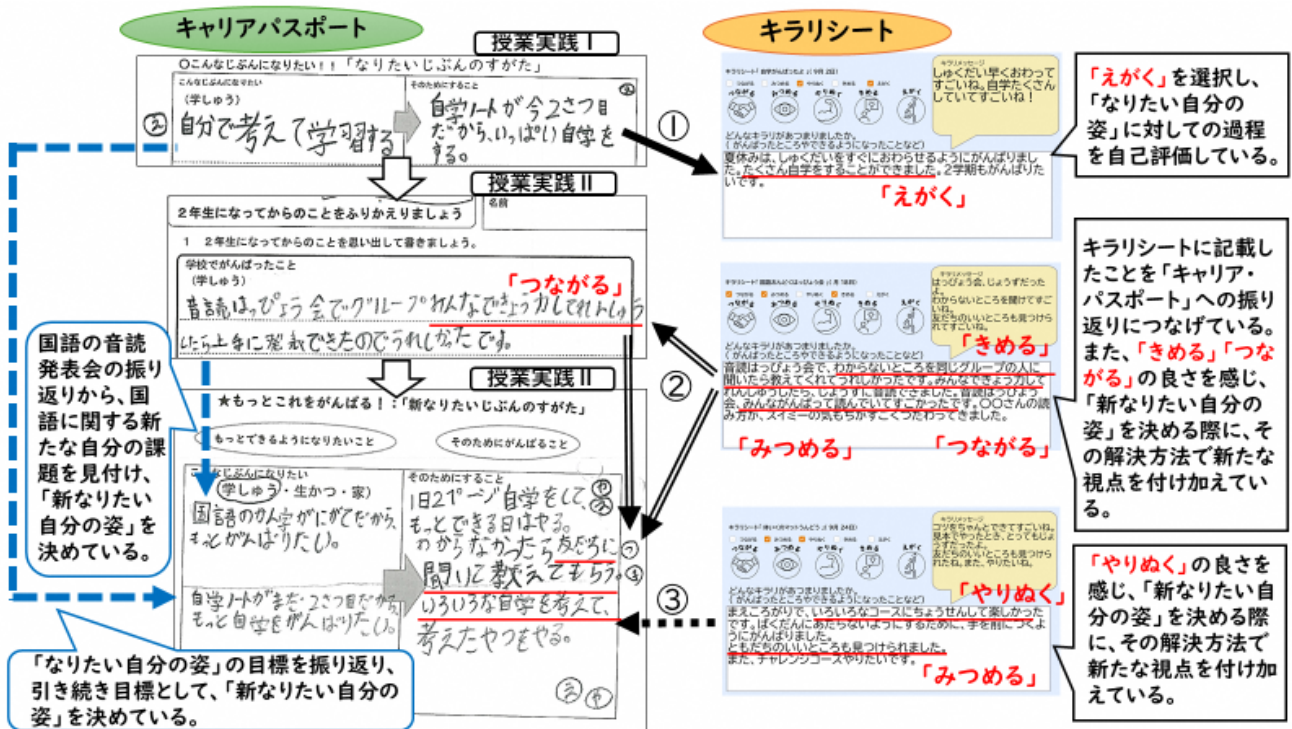
【資料4】「キャリア・パスポート」

を用いた振り返り活動

児童がこれまでの頑張りや自己の成長を実感できるよう、「キラリシート」内に記載の5つのキーワードの蓄積数や記述内容、友達や家族からのメッセージを参照するよう助言した。



【資料5】児童Aの一連の活動における変容



〈引用・参考文献〉

- 兵庫県教育委員会 (2020) 特別活動を要としたキャリア教育推進事業
- 文部科学省 (2018) 小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 特別活動編 東洋館出版
- 文部科学省/国立教育政策研究所 教育課程研究センター (2019) 特別活動指導資料 「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 (小学校編)」 文溪堂
- 文部科学省 (2023) 小学校キャリア教育の手引き 実業之日本社